

令和2年2月市議会 建設水道委員会資料

第2号議案

令和元年度長崎市一般会計補正予算(第7号)

目次	ページ
《8款 土木費 2項 道路橋りょう費》	
3目 道路橋りょう新設改良費	
〔歳出の補正〕	
【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)	1 ~ 5
〔繰越明許費の補正〕	
繰越明許費位置図	6
【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)	7 ~ 8
【単独】自然災害防止事業費	9
【単独】道路新設改良事業費	9 ~ 11
【単独】過疎対策事業費	12 ~ 13
《8款 土木費 3項 河川海岸費》	
2目 河川改良費	
〔歳出の補正〕	
【単独】自然災害防止事業費	14 ~ 16
〔繰越明許費の補正〕	
繰越明許費位置図	17
【単独】自然災害防止事業費	18 ~ 19
3目 海岸保全費	
〔繰越明許費の補正〕	
【補助】海岸保全事業費(社会資本整備総合交付金)	20 ~ 21
4目 県施行事業費負担金	
〔繰越明許費の補正〕	
河川海岸費負担金	22 ~ 26

《8款 土木費 5項 都市計画費》

2目 都市開発費

[歳出の補正]

【補助】斜面市街地再生事業費 27 ~ 28

【補助】歴史的地区環境整備事業費 29 ~ 30

[繰越明許費の補正]

繰越明許費位置図 31

【補助】斜面市街地再生事業費 32

6目 公園費

[繰越明許費の補正]

【単独】公園施設整備事業費 33 ~ 36

(参考)令和元年度主要事業の執行予定について 37

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
32~35	8 土木費	2 道路橋 りよう費	3 道路橋りよう 新設改良費	1-5	【補助】道路新設改良事業費 (社会資本整備総合交付金) 道路構造物等補強	千円 ▲34,500

1 概 要

(1)事業目的

国の社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)を活用し、道路等の災害を防止するため、道路構造物等について、法に規定された5年に1回の定期点検や緊急性に応じた補修・補強を行うもの。

(2)補正予算理由

国庫補助事業の内示減に伴い予算を減額するもの ▲ 34,500千円

2 事業内容

(単位:千円)

区分	当初	補正後	補正額
中央総合 事務所	定期点検:113箇所 橋梁詳細設計:西山9号線 (西山町6号橋)ほか1橋 橋補修工事:古河町上戸町線 (琴平橋)ほか3橋 事業費:117,300	定期点検:93箇所 橋梁詳細設計:西山9号線 (西山町6号橋) 橋補修工事:古河町上戸町 線(琴平橋) 事業費:98,300	▲ 19,000
東総合 事務所	定期点検:35箇所 橋補修工事:古賀町多良見町 2号線(六本道橋)ほか1橋 事業費:47,000	定期点検:27箇所 橋補修工事:古賀町多良見町 2号線(六本道橋) 事業費:40,100	▲ 6,900
南総合 事務所	定期点検:24箇所 事業費: 8,400	定期点検:7箇所 事業費: 4,200	▲ 4,200
北総合 事務所	定期点検:33箇所 橋補修工事:上出津線(上出 津1号橋)ほか1橋 事業費:26,000	定期点検:33箇所 橋補修工事:上出津線(上出 津1号橋)ほか1橋 事業費:21,600	▲ 4,400
小計	定期点検:205箇所 橋梁詳細設計:2橋 橋補修工事:8橋 事業費:198,700	定期点検:160箇所 橋梁詳細設計:1橋 橋補修工事:4橋 事業費:164,200	▲ 34,500
事務費	2,600	2,600	0
合計	201,300	166,800	▲ 34,500

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
当初予算額	201,300	109,285	—	52,800	—	39,215
2月補正	▲34,500	▲18,975	—	▲8,900	—	▲6,625
補正後	166,800	90,310	—	43,900	—	32,590

※1 国庫補助率 対象事業費(34,500千円)の55%

※2 起債充当率 公共事業等債 充当率90%(交付税措置率 22.2%)

【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強



浦上貯水池

昭和川平町線(昭和町1号橋・昭和町2号橋)

昭和
三丁目

昭和町2号橋
(当初)補修工事 L=14m
(補正後)なし

昭和町1号橋
(当初)補修工事 L=12m
(補正後)なし

西浦上トンネル

昭和町公民館

西浦上小学校

県道長与大橋町線

せせらぎ

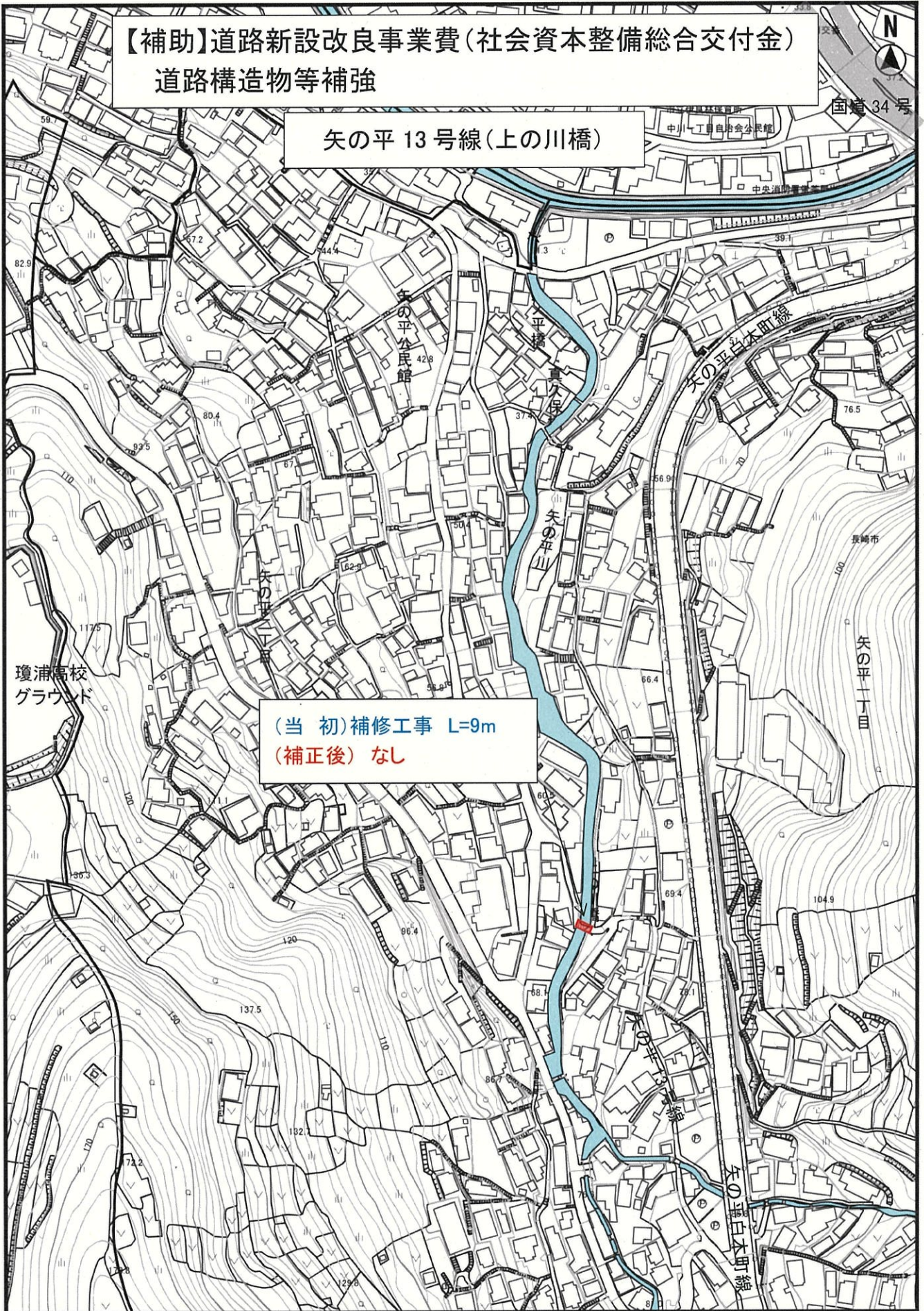
大手一丁目

大手町公民館

【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強

矢の平 13 号線(上の川橋)

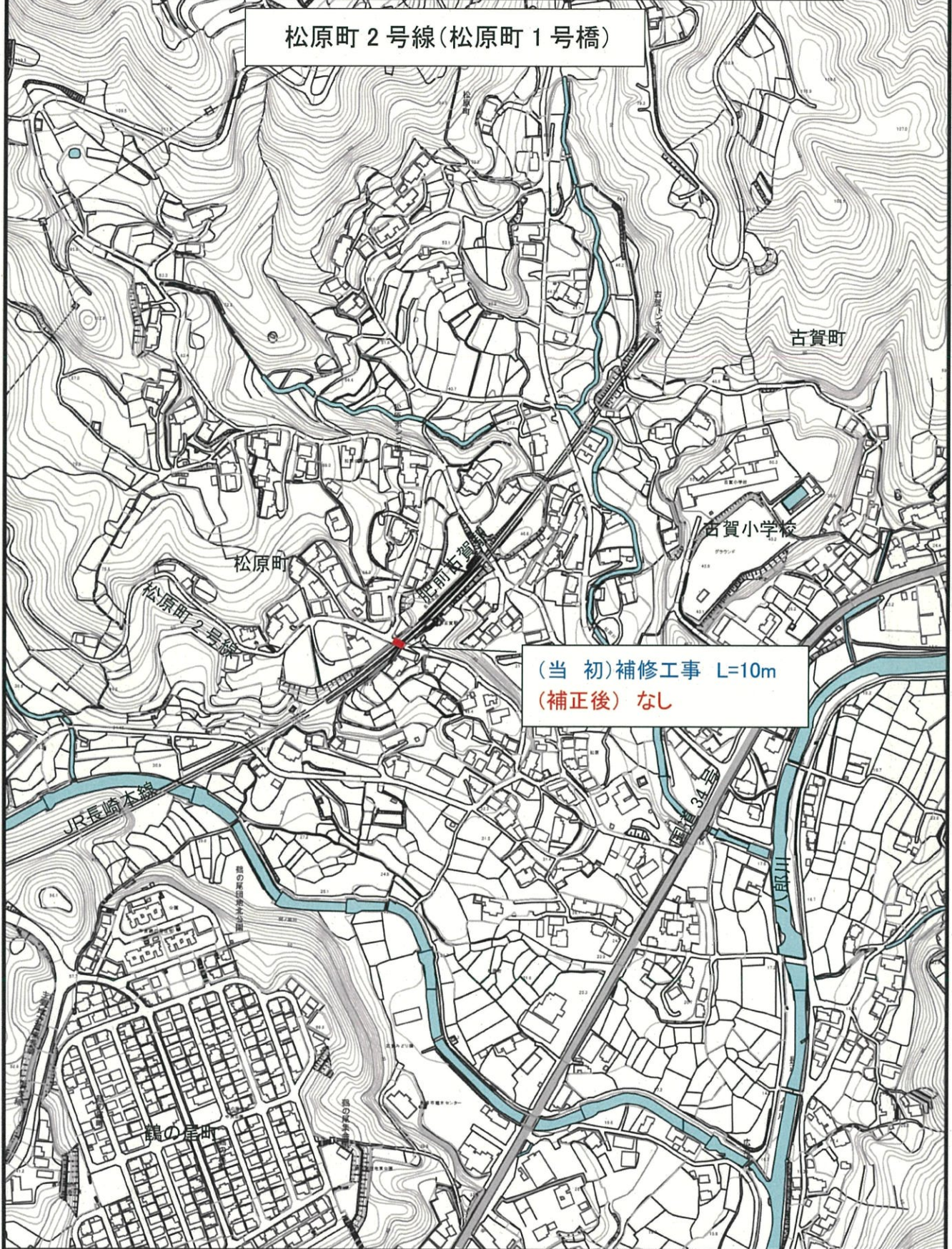
(当初)補修工事 L=9m
(補正後) なし



【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強



松原町 2 号線(松原町 1 号橋)

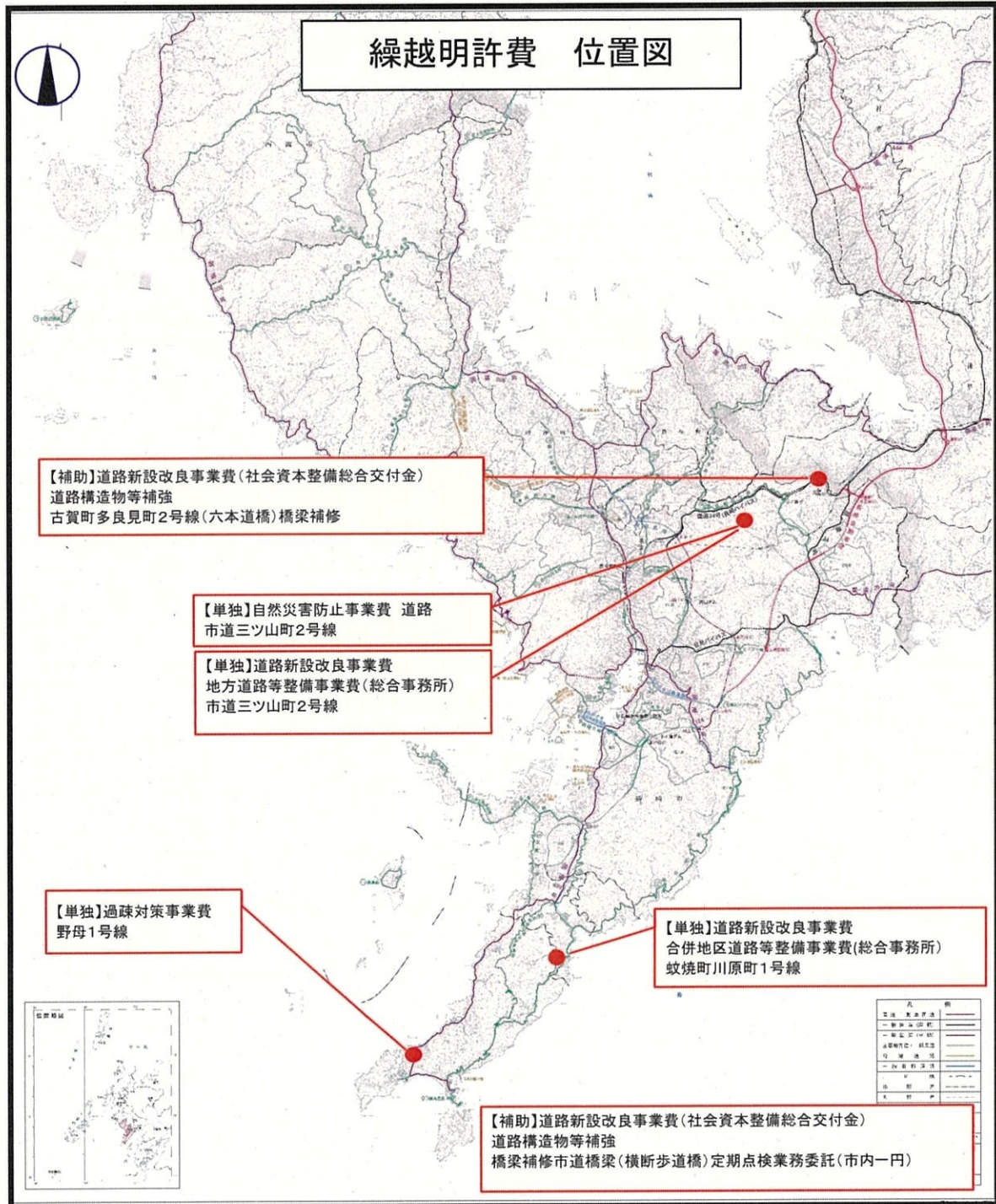


(当初)補修工事 L=10m
(補正後) なし

8款 土木費 2項 道路橋りょう費

(単位:千円)

	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8款 2項 繰越明許費	予算現額	1,092,699	76,120	—	905,499	—	111,080
合計	支出予定額	893,299	60,280	—	726,599	—	106,420
	繰越明許額	199,400	15,840	—	178,900	—	4,660



【繰越明許費】予算説明書 52～53ページ

8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費
 ※ 中央総合事務所、東総合事務所

(単位:千円)

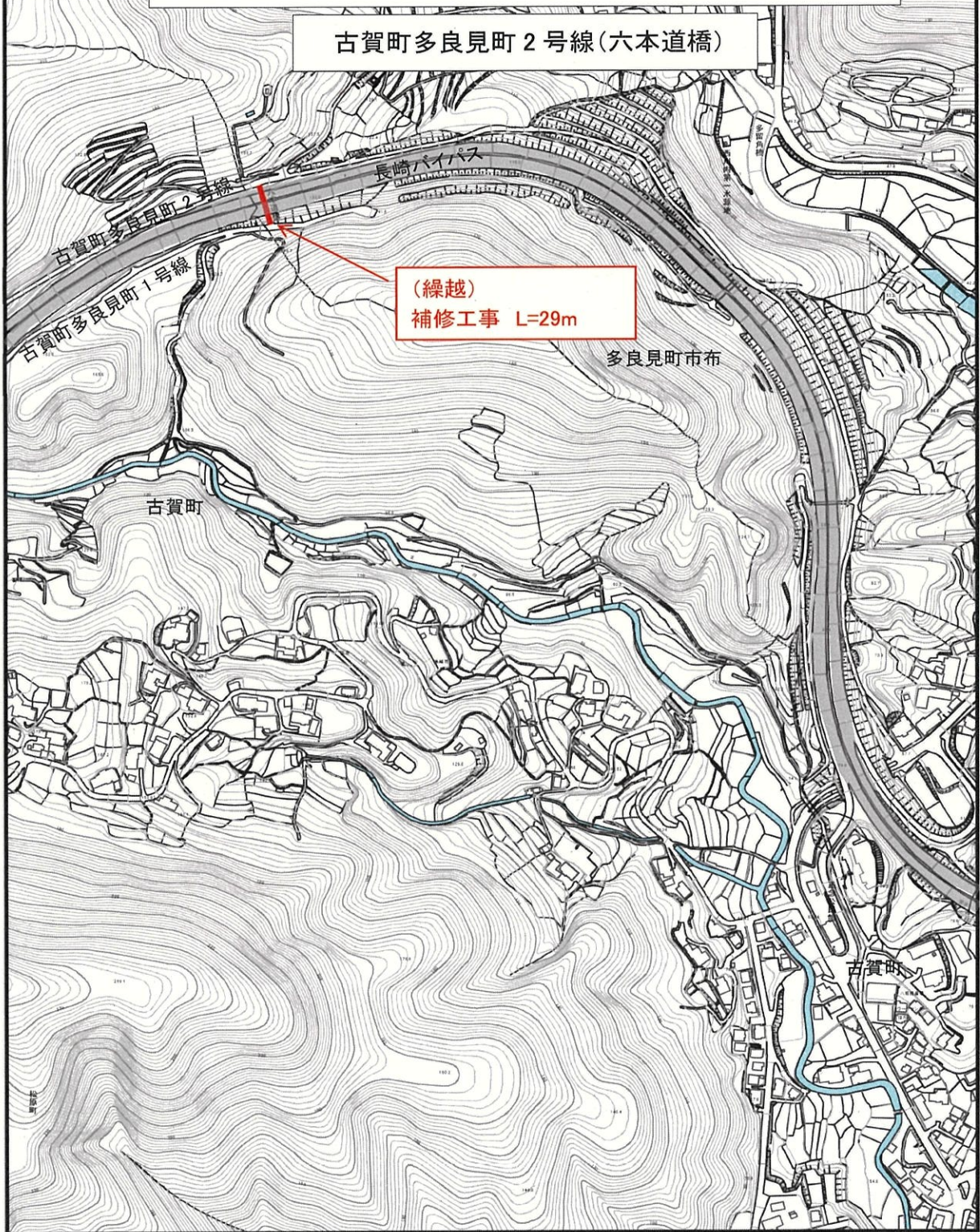
事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】道路新設改良事業費 (社会資本整備総合交付金) 道路構造物等補強	補正後 予算現額	166,731	90,272	—	42,300	—	34,159
【事業期間】 H19～	支出予定額	137,931	74,542	—	33,280	—	30,109
【事業内容】 経年劣化した道路構造物(橋梁等)の補修等を行い、耐久性の向上を図る	繰越明許額	28,800	15,730	—	9,020	—	4,050
繰越事由	関係機関との調整に不測の日数を要したことなどにより、事業が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年9月						



【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強



古賀町多良見町2号線(六本道橋)



(線越)
補修工事 L=29m

8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費
 ※ 中央総合事務所

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】自然災害防止事業費 道路 市道三ツ山町2号線 【事業内容】 落石防護柵	予算現額	10,999	—	—	10,999	—	—
	支出予定額	6,399	—	—	6,399	—	—
	繰越明許額	4,600	—	—	4,600	—	—
【単独】道路新設改良事業費 地方道路等整備事業費(総合事務所) 市道三ツ山町2号線 【事業内容】 落石防護柵	予算現額	705,000	—	—	623,200	—	81,800
	支出予定額	690,800	—	—	610,500	—	80,300
	繰越明許額 (11月補正)	12,000	—	—	10,800	—	1,200
	繰越明許額 (2月補正)	2,200	—	—	1,900	—	300
	繰越明許額 合計	14,200	—	—	12,700	—	1,500
繰越事由	契約事務に不測の日数を要し、工事が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年8月						



【繰越明許費】予算説明書 54～55ページ

8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費

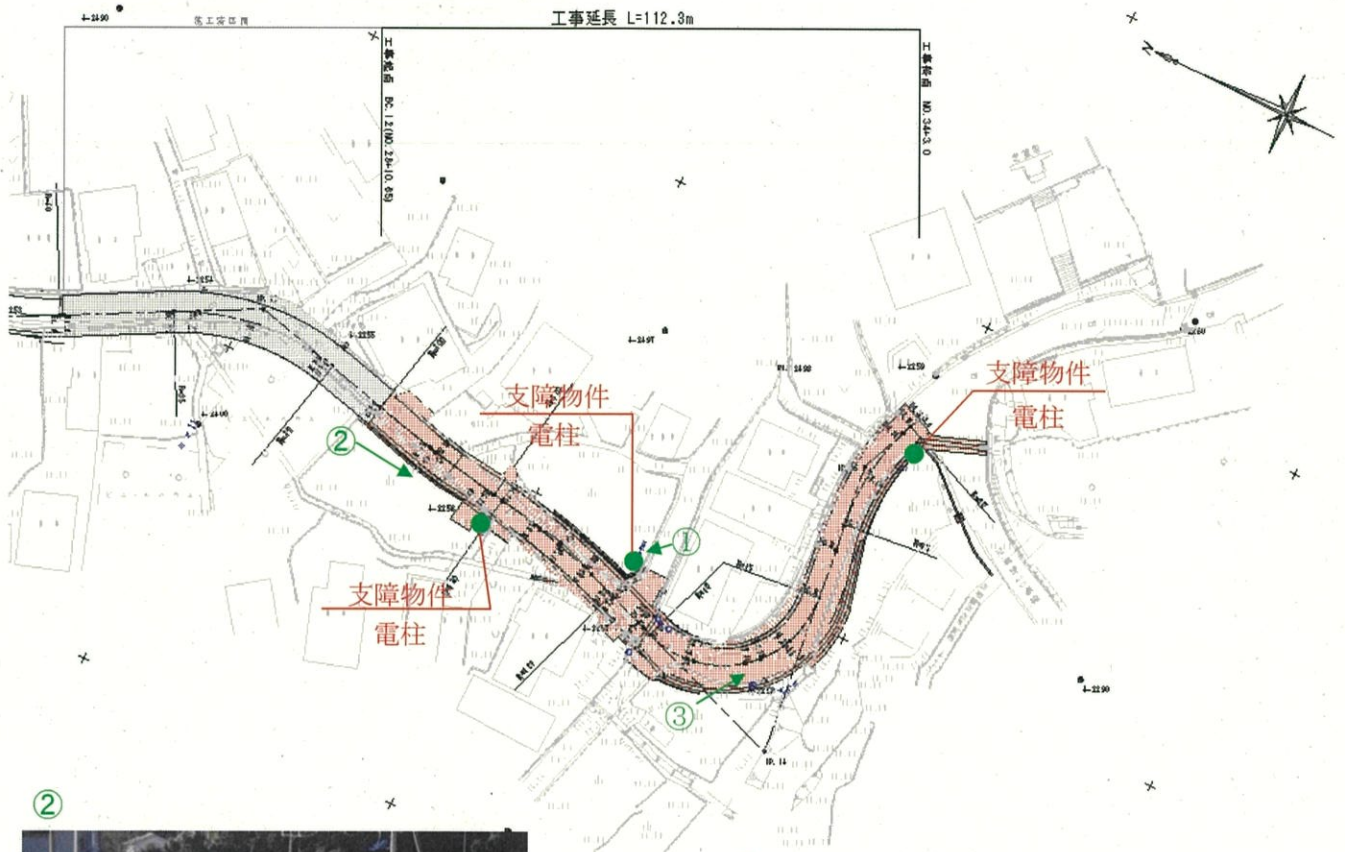
※ 南総合事務所

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】道路新設改良事業費 合併地区道路等整備事業費(総合事務所) 蚊焼町川原町1号線 【事業内容】 道路改良L=680m	予算現額	55,700	—	—	52,900	—	2,800
	支出予定額	35,200	—	—	33,500	—	1,700
	繰越明許額	20,500	—	—	19,400	—	1,100
繰越理由	支障物件移設箇所の選定等に不測の日数を要し、事業が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年7月						

**【単独】道路新設改良事業費
合併地区道路等整備事業費(総合事務所)
蚊焼町川原町1号線**

①



②



③



【繰越明許費】予算説明書 54～55ページ

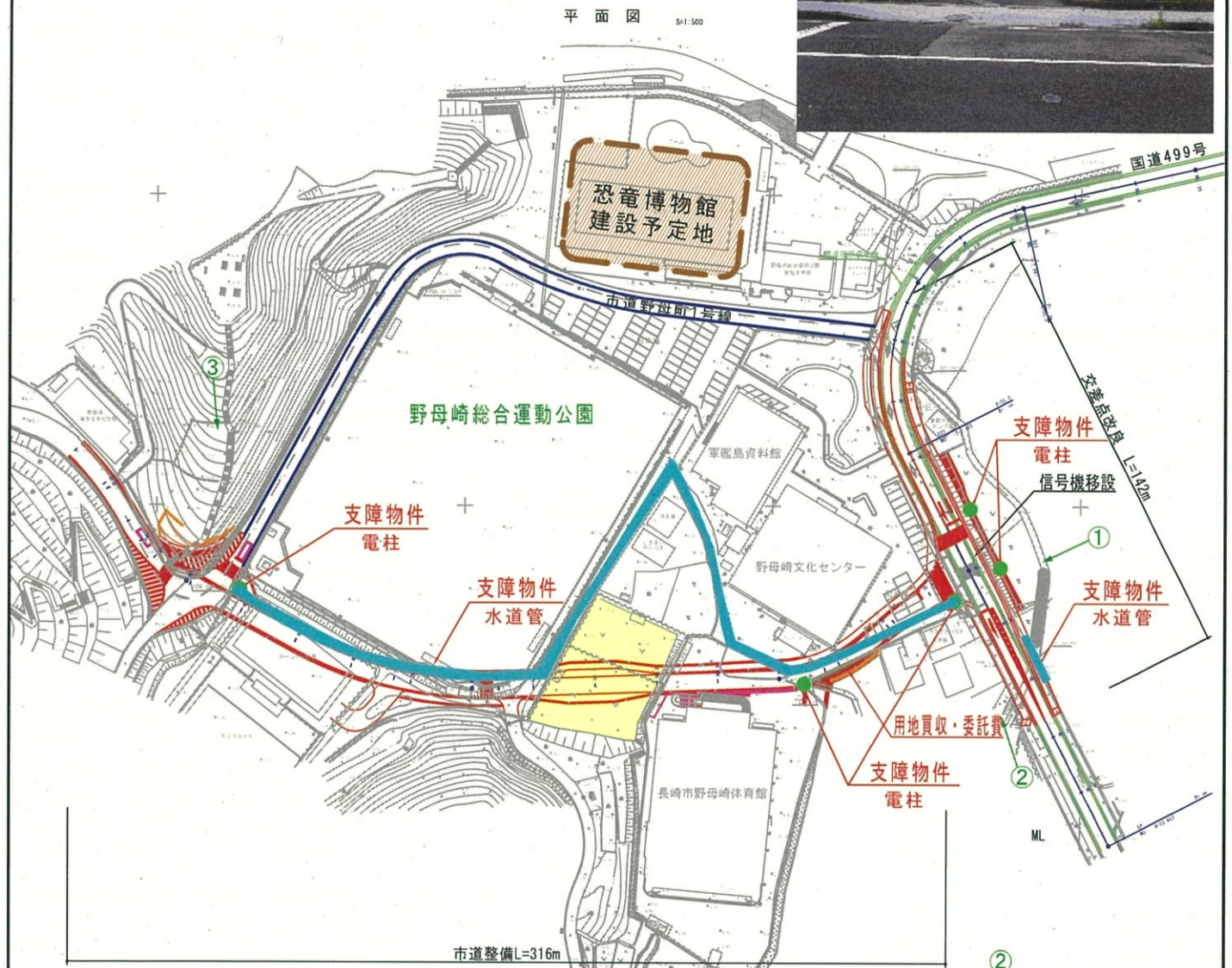
8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費

※ 南総合事務所

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】過疎対策事業費 野母町1号線 【事業内容】 交差点改良L=142m 道路改良L=316m 用地取得A=53㎡	予算現額	180,000	—	—	180,000	—	—
	支出予定額	48,700	—	—	48,700	—	—
	繰越明許額	131,300	—	—	131,300	—	—
繰越理由	支障物件移設箇所を選定等に不測の日数を要し、事業が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年7月						

【单独】 過疎対策事業費事業費 市道野母町1号線



予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
34~35	8 土木費	3 河川海岸費	2 河川改良費	1-1	【単独】自然災害防止事業費 急傾斜地崩壊対策	千円 2,500

1 概要

(1) 事業目的

急傾斜地の崩壊による被害から市民の生命と財産を守るため、急傾斜地崩壊対策工事を実施するもの。

(2) 補正予算理由

県費補助事業の内示増に伴い、事業の進捗を図るため予算を増額するもの。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	地区名(施行箇所)	6月補正後	2月補正後	補正額
中央総合事務所	三川(8)地区 (三川町)	用地境界確定・地質調査・測量設計 事業費 6,000	変更なし	0
	滑石 5 丁目地区 (滑石 5 丁目)	県施行へ移行 事業費 0	変更なし	
	田上(6)地区 (田上 1 丁目)	工事(待受防護柵工)L=7m 事業費 20,000	変更なし	
	御船蔵(4)地区 (御船蔵町)	工事(法枠工)A=400 m ² 事業費 40,000	変更なし	
	三川(16)地区 (川平町)	工事(法枠工)A=200 m ² 事業費 15,000	変更なし	
	小峰(1)地区 (小峰町)	用地境界確定・地質調査・測量設計 事業費 7,000	変更なし	
東総合事務所	東町地区 (東町)	工事(待受擁壁工)L=20m 事業費 16,000	変更なし	0
	平間(2)地区 (平間町)	工事(法枠工)A=260 m ² 事業費 19,000	変更なし	
	古賀(1)地区 (古賀町)	工事(法枠工)A=150 m ² 事業費 15,000	変更なし	
南総合事務所	塩町地区 (伊王島町 2 丁目)	工事(法枠工)A=230 m ² 事業費 15,000	変更なし	2,500
	深堀 5 丁目地区 (深堀町 5 丁目)	工事(法枠工)A=180 m ² 事業費 30,000	工事(法枠工)A=200 m ² 事業費 32,500	
	深堀 4 丁目地区 (深堀町 4 丁目)	用地境界確定・地質調査・測量設計 事業費 6,000	変更なし	
事業費合計		事業費:189,000	事業費:191,500	2,500

(当初予算には、この他に施設点検業務委託費 3,000 千円、事務費 1,000 千円を含む)

3 財源内訳

(単位:千円)

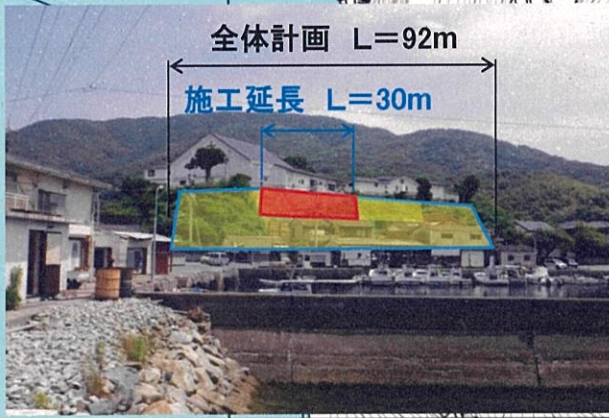
区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金※1	地方債※2	その他	一般財源
当初予算額	千円 134,000	千円 -	千円 65,000	千円 59,400	千円 6,550	千円 3,050
6月補正	59,000	-	29,500	29,400	-	100
2月補正	2,500	-	1,250	1,200	-	50
補正後	195,500	-	95,750	90,000	6,550	3,200




※1 県費補助率 対象事業費 (2,500千円) の1/2

※2 緊急自然災害防止対策事業債 充当率100% (交付税措置率70%)

【単独】自然災害防止事業費（急傾斜地崩壊対策）

深堀5丁目地区

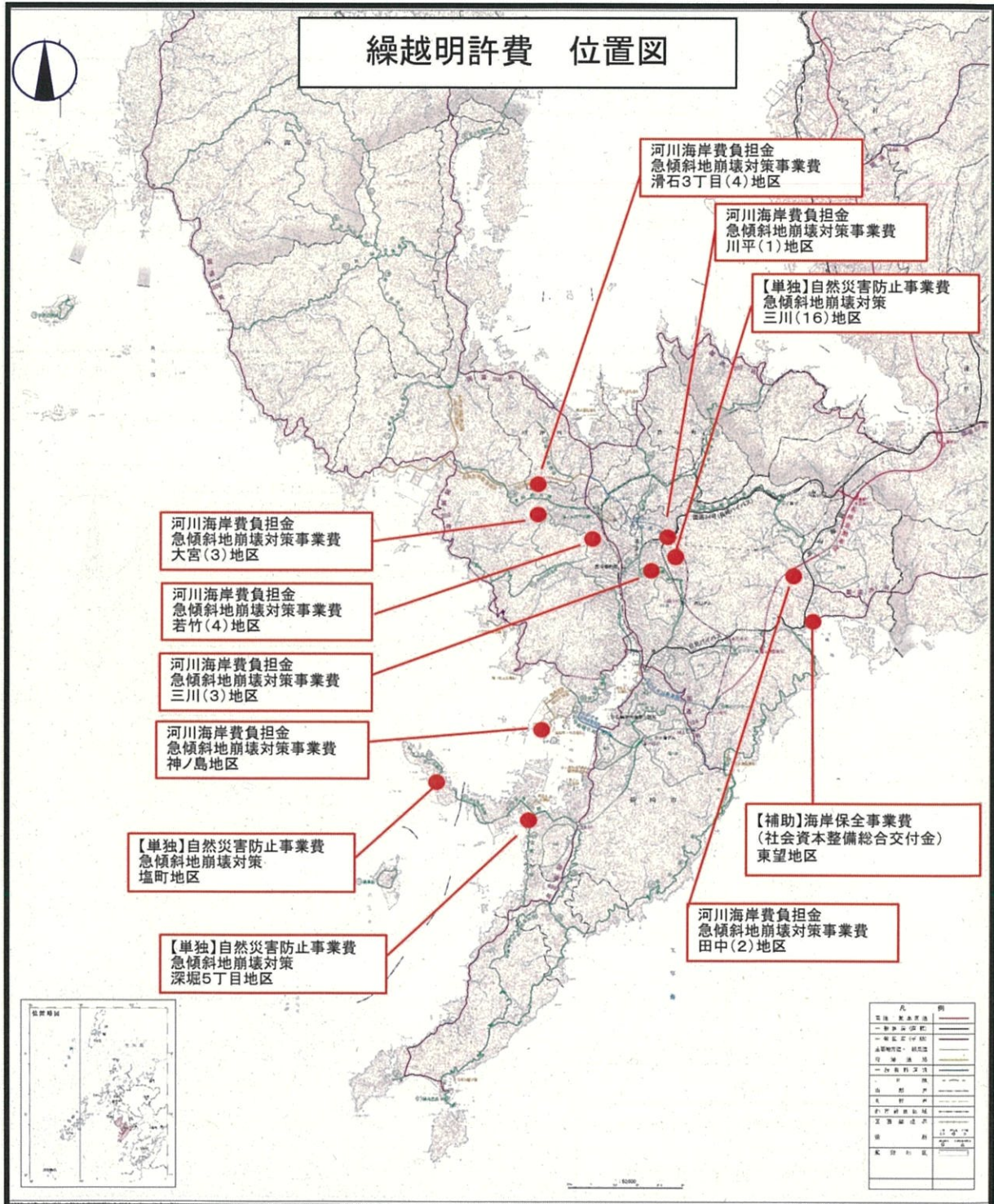


凡 例	
	平成30年度まで施行箇所
	令和元年度施行箇所
	令和2年度以降施行予定箇所

8款 土木費 3項 河川海岸費

(単位:千円)

8款 3項 繰越明許費 合計	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算現額	262,020	24,000	70,750	152,200	4,059	11,011	
支出予定額	183,160	21,600	43,720	107,000	1,881	8,959	
繰越明許額	78,860	2,400	27,030	45,200	2,178	2,052	



【繰越明許費】予算説明書 56～57 ページ

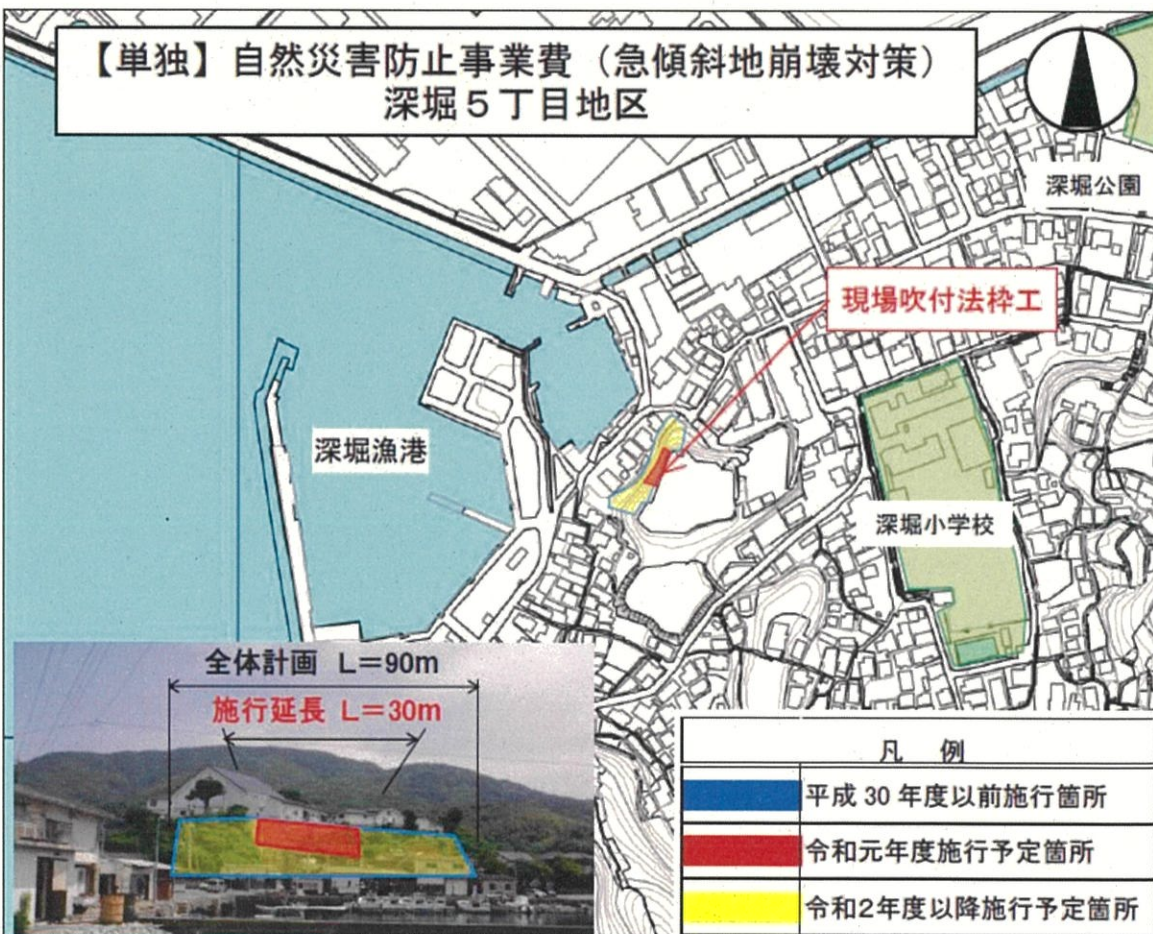
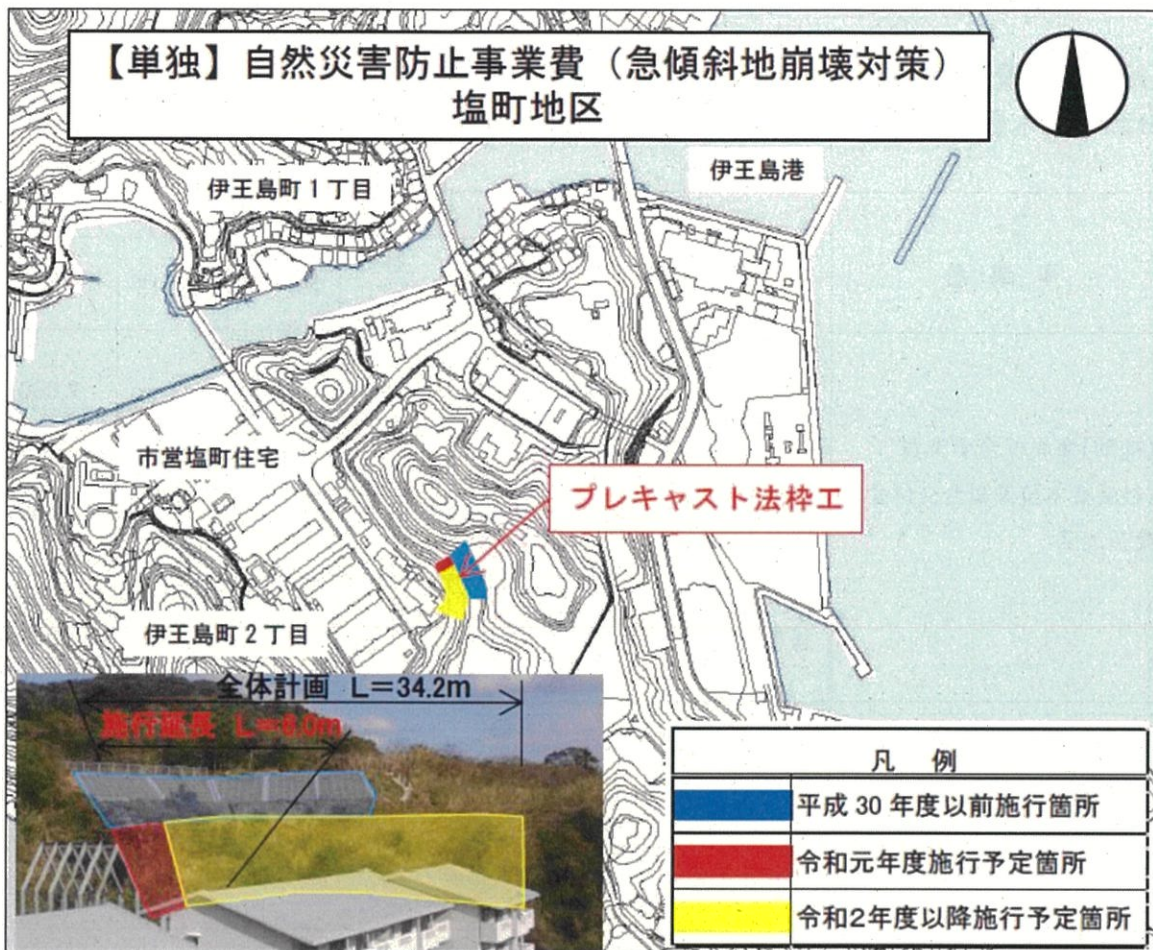
8款 土木費 3項 河川海岸費 2目 河川改良費

※ 中央総合事務所、南総合事務所

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】自然災害防止事業費 急傾斜地崩壊対策 【施工地区】 ■三川(16)地区 事業期間H30～R2年度 延長 L=32m 高さ H=8m ■塩町地区 事業期間H27～R6年度 延長 L=34.2m 高さ H=24m ■深堀5丁目地区 事業期間H30～R6年度 延長 L=92m 高さ H=8～14m	予算現額 (2月補正含む)	145,500	—	70,750	67,500	4,059	3,191
	支出予定額	91,440	—	43,720	42,800	1,881	3,039
	繰越明許額 (11月補正)	32,560	—	16,280	14,600	1,628	52
	繰越明許額 (2月補正)	21,500	—	10,750	10,100	550	100
	繰越明許額 合計	54,060	—	27,030	24,700	2,178	152
繰越事由	契約事務に不測の日数を要したこと及び県の補助金の追加内示に伴う工事が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年7月						





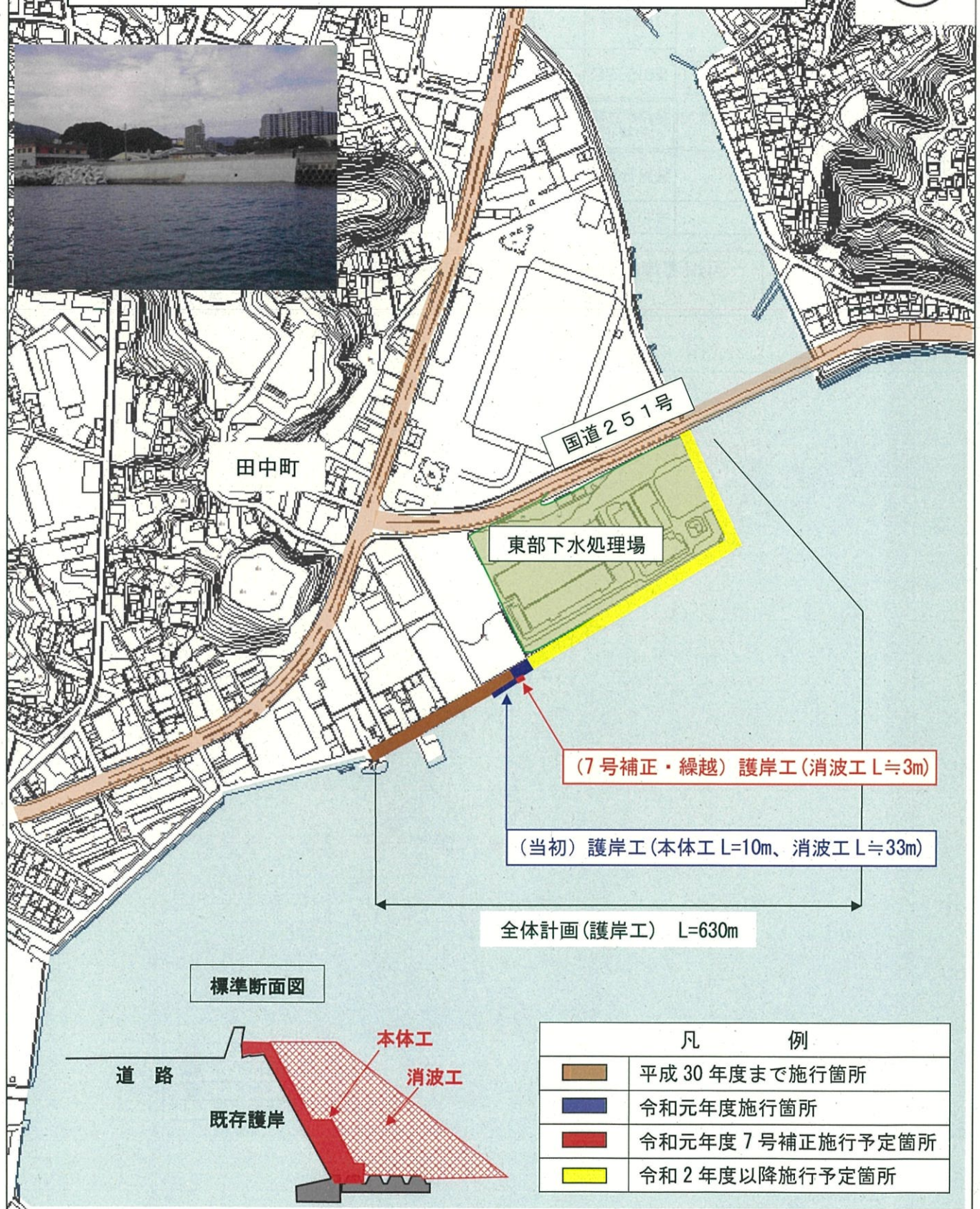
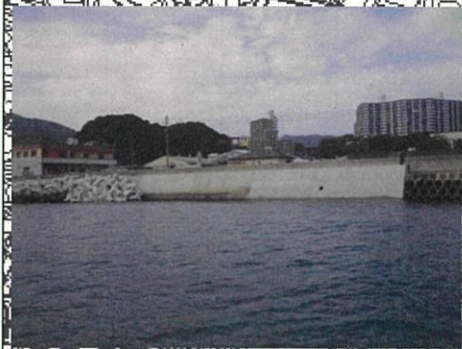
【繰越明許費】予算説明書 56～57 ページ

8 款 土木費 3 項 河川海岸費 3 目 海岸保全費

(単位:千円)

事業名	金額		財 源 内 訳				
			国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】海岸保全事業費 (社会資本整備総合交付金) 東望地区	予算現額 (8号補正前)	50,000	24,000	—	23,400	—	2,600
	支出予定額	45,200	21,600	—	21,200	—	2,400
	繰越明許額	4,800	2,400	—	2,200	—	200
繰越事由	契約事務に不測の日数を要し、工事が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和3年2月						

【補助】海岸保全事業費（社会資本整備総合交付金）
東望地区

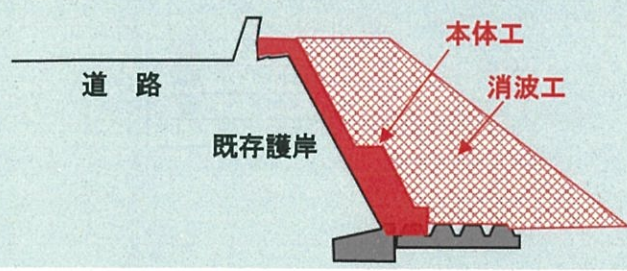


(7号補正・繰越) 護岸工(消波工 L≒3m)

(当初) 護岸工(本體工 L=10m、消波工 L≒33m)

全体計画(護岸工) L=630m

標準断面図

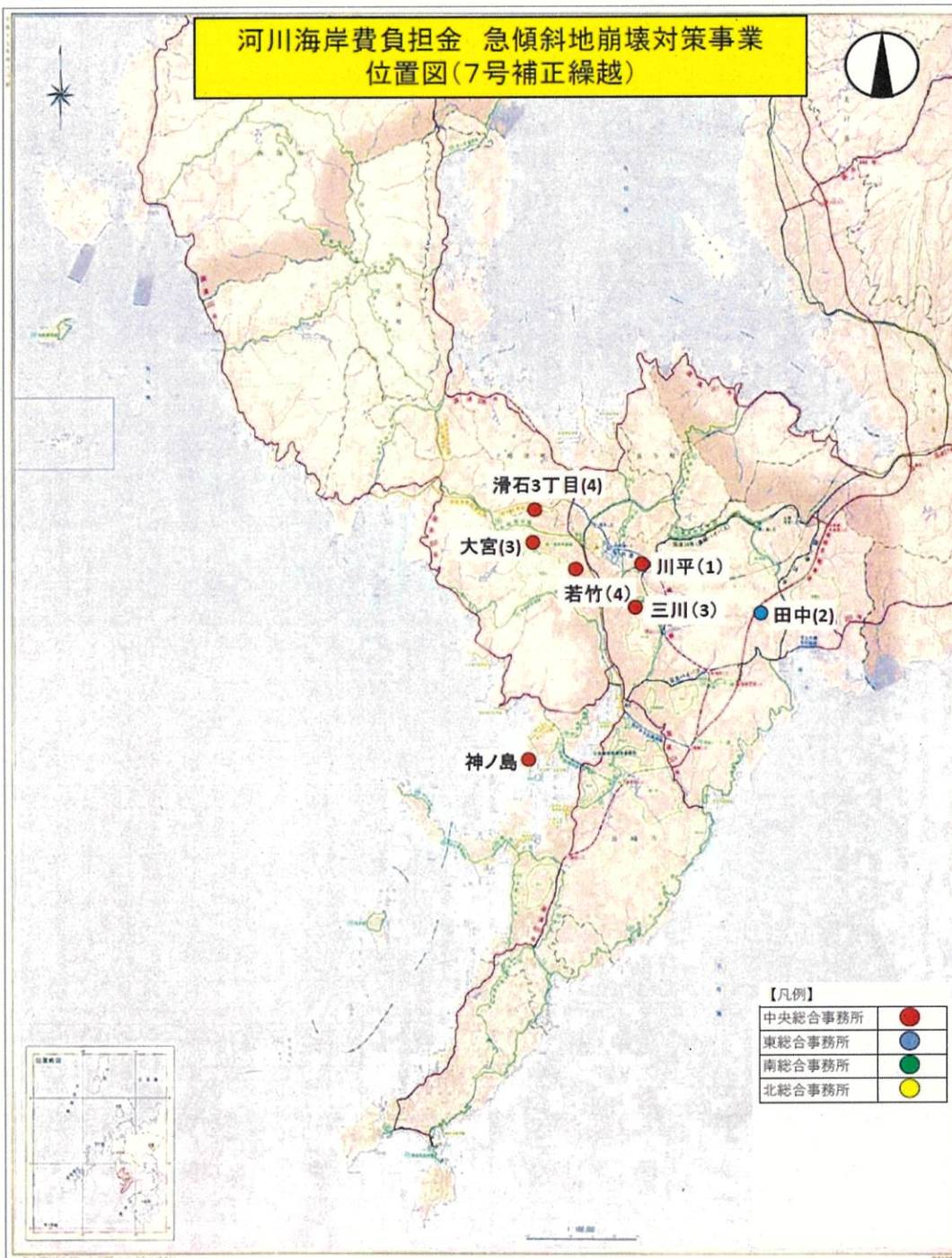


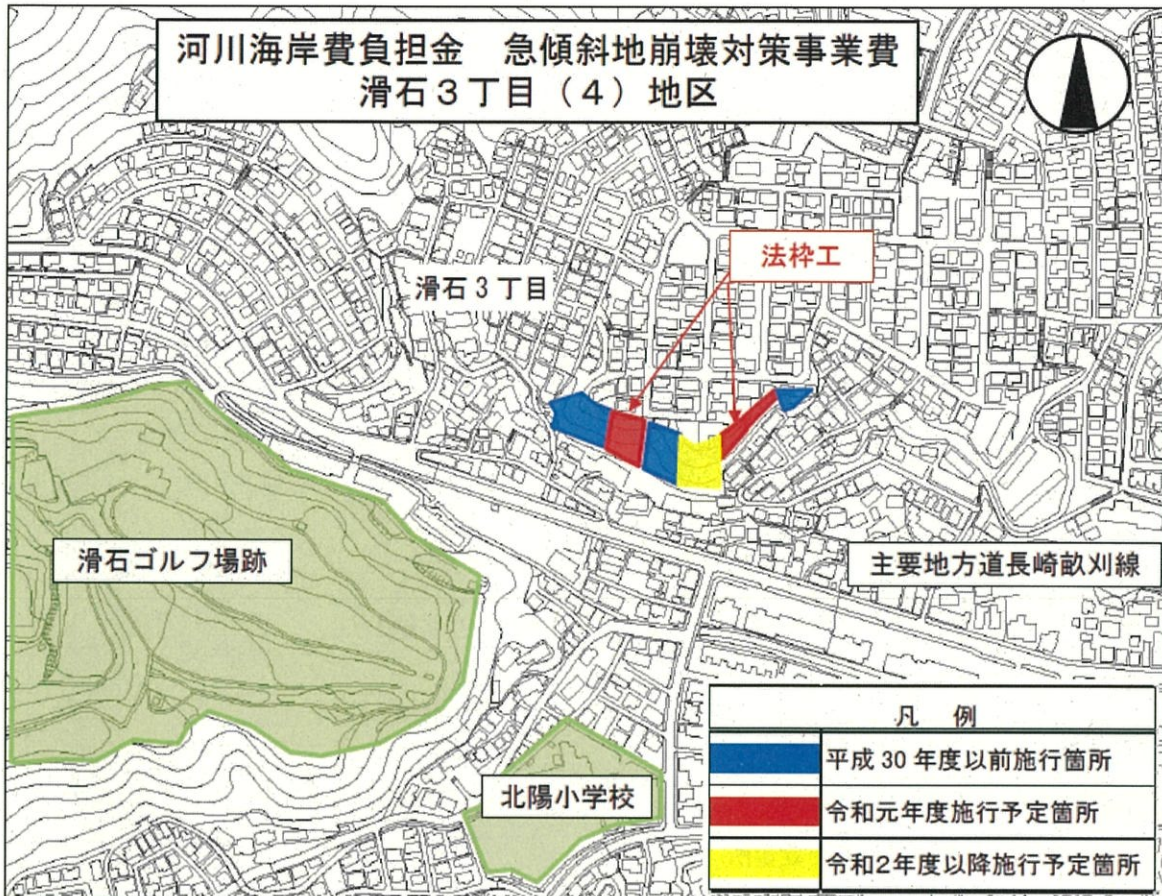
凡 例	
	平成30年度まで施行箇所
	令和元年度施行箇所
	令和元年度7号補正施行予定箇所
	令和2年度以降施行予定箇所

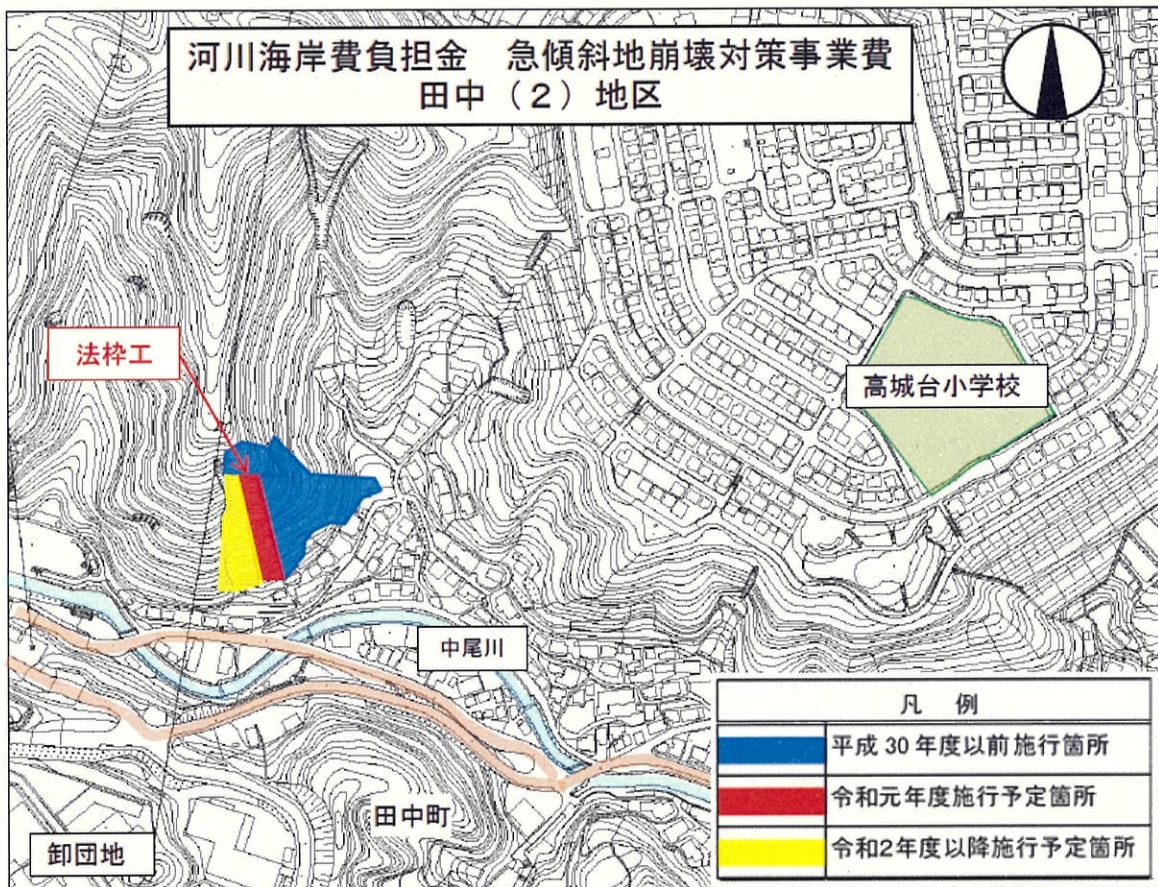
8款 土木費 3項 河川海岸費 4目 県施行事業費負担金
 ※ 中央総合事務所

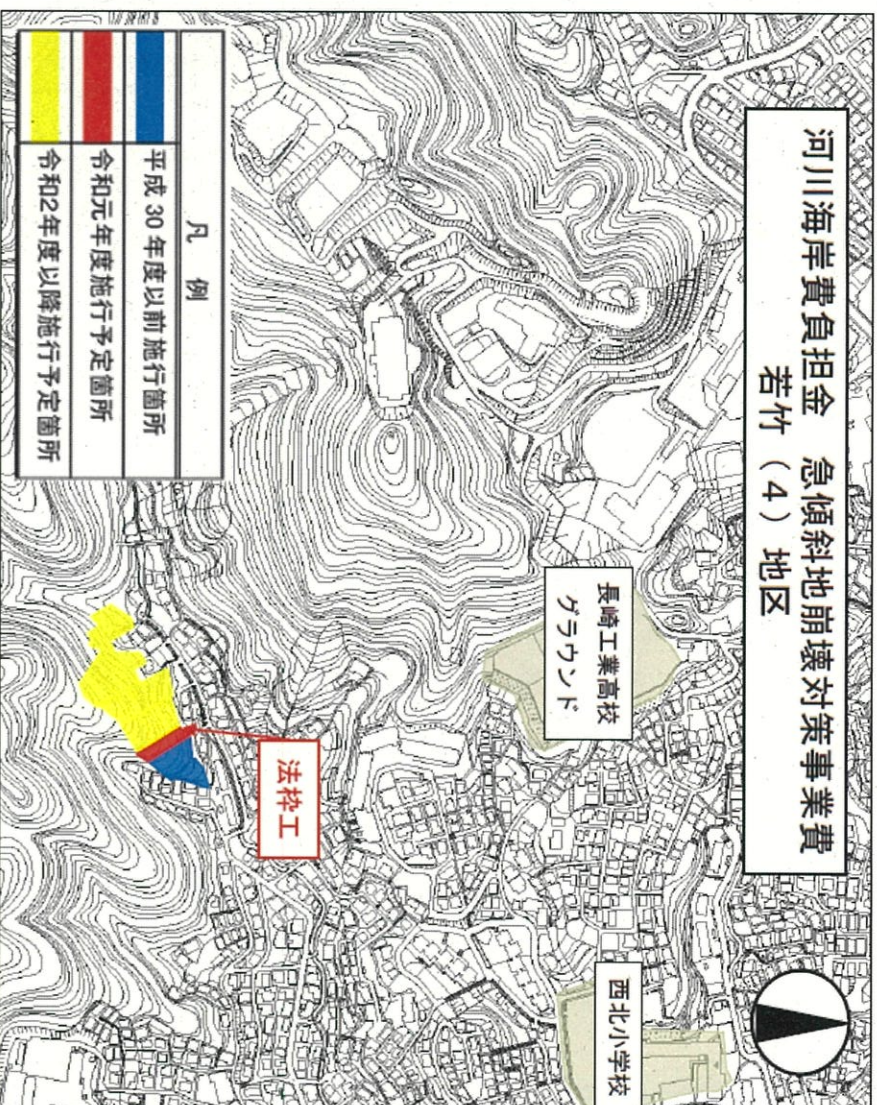
(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業費 【事業内容】 県が施行する急傾斜地崩壊対策事業に対して、地元負担金を支出するもの	予算現額 (8号補正前)	66,520	—	—	61,300	—	5,220
	支出予定額	46,520	—	—	43,000	—	3,520
	繰越明許額 (7号補正)	20,000	—	—	18,300	—	1,700
繰越事由	県施行事業が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和3年2月頃						











予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
34~37	8 土木費	5 都市 計画費	2 都市 開発費	1-1	【補助】斜面市街地 再生事業費 稲佐・朝日地区	千円 ▲30,800

1 概 要

(1)事業目的

本市の斜面市街地において、建物の老朽化や密集度等が高い8地区を整備促進区域と定め、その区域内で特に整備が必要な地区を重点整備地区として、防災・安全交付金事業（住宅市街地総合整備事業）を用いて、道路・公園等の整備や老朽建築物の除却及び建替えなど総合的に行い、防災性の向上や居住環境の改善を図る。

(2)補正予算理由

国庫補助事業の内示減に伴い予算を減額するもの ▲ 30,800千円

2 事業内容

(単位:千円)

地区名	当初	補正後	補正額
稲佐・朝日地区	用地取得 A=190 m ² 建物補償 1棟 事業再評価 一式 事業費:35,200	用地取得 A=0 m ² 建物補償 0棟 事業再評価 一式 事業費:4,400	▲30,800

3 財源内訳

(単位:千円)

事業名	事業費		財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】斜面市街地再生 事業費 (稲佐・朝日地区)	当初予算額	35,200	16,300	—	15,900	—	3,000
	2月補正	▲30,800	▲15,400	—	▲15,400	—	▲0
	補正後	4,400	900	—	500	—	3,000

※1 国庫補助率 対象事業費(30,800千円)の50%

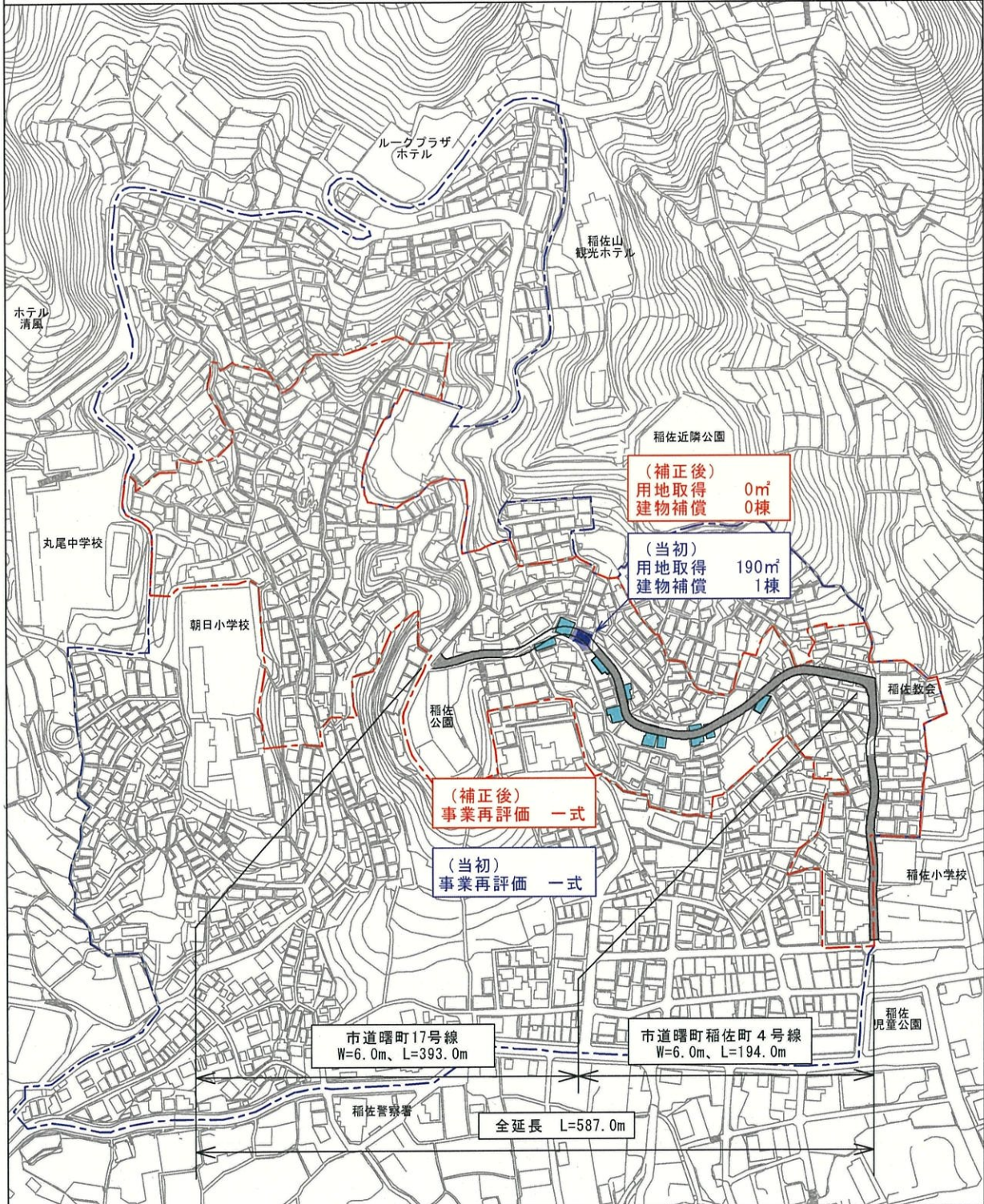
※2 公営住宅建設事業債 充当率100%(交付税措置率-%)

斜面市街地再生事業（稲佐・朝日地区）



 整備促進区域 A=32.0ha
 重点整備地区 A= 9.4ha

整備完了箇所
 既買収箇所
 令和元年度予定箇所
 令和元年度補正箇所



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
34~37	8 土木費	5 都市 計画費	2 都市 開発費	3-1	【補助】歴史的地区 環境整備事業費 唐人屋敷顕在化	千円 ▲10,500

1 概 要

(1)事業目的

唐人屋敷跡は、日本と中国の交流の歴史的意義はもとより、長崎市の観光の面からも重要な位置を占める場所であるので、唐人屋敷顕在化事業として観光や情報発信の拠点整備と日中交流の歴史が生きついたまちづくりを行うもの。

(2)補正予算理由

国庫補助事業の内示減に伴い予算を減額するもの ▲ 10,500千円

2 事業内容

(単位:千円)

事業名	当初	補正後	補正額
唐人屋敷顕在化	用地取得 A=168 m ² 建物補償 1件 営業補償 2件 事業費:25,400	用地取得 A=0 m ² 建物補償 1件 営業補償 2件 事業費:14,900	▲10,500

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
当初予算額	千円 25,400	千円 12,450	千円 -	千円 11,400	千円 -	千円 1,550
2月補正	▲10,500	▲5,250	-	▲4,700	-	▲550
補正後	14,900	7,200	-	6,700	-	1,000

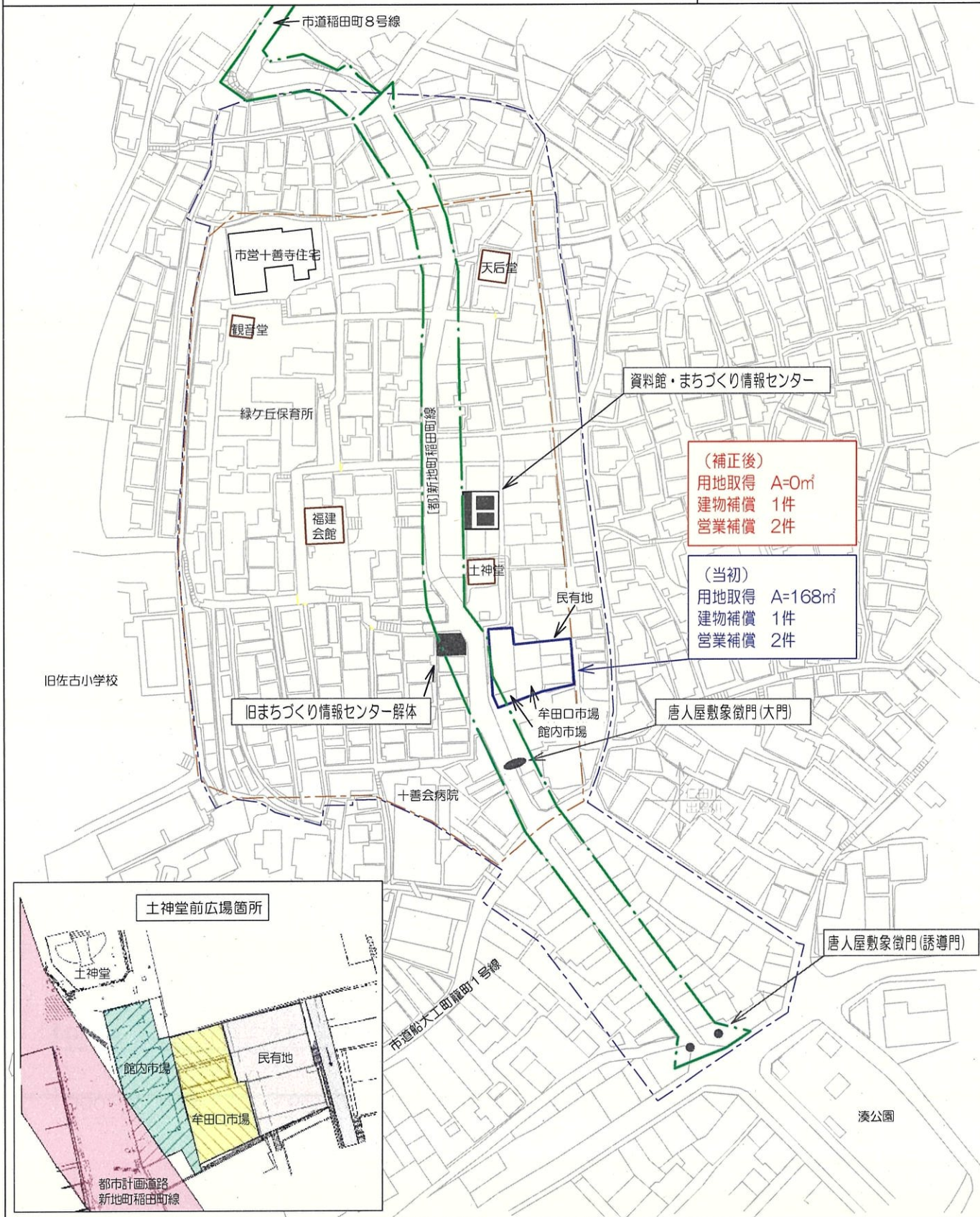
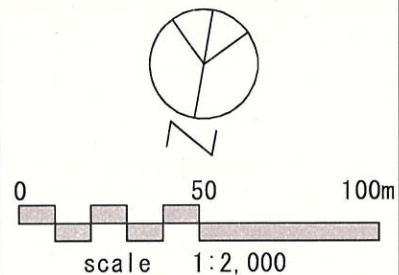
※1 国庫補助率 対象事業費(10,500千円)の50%

※2 起債充当率 公共事業等債 充当率90%(交付税措置率 22.2%)

唐人屋敷顕在化事業

- 唐人屋敷跡
A=3.6ha
- 街なみ環境整備事業促進地区
A=5.5ha

- 整備完了箇所
- 令和元年度予定箇所
- 令和元年度補正箇所



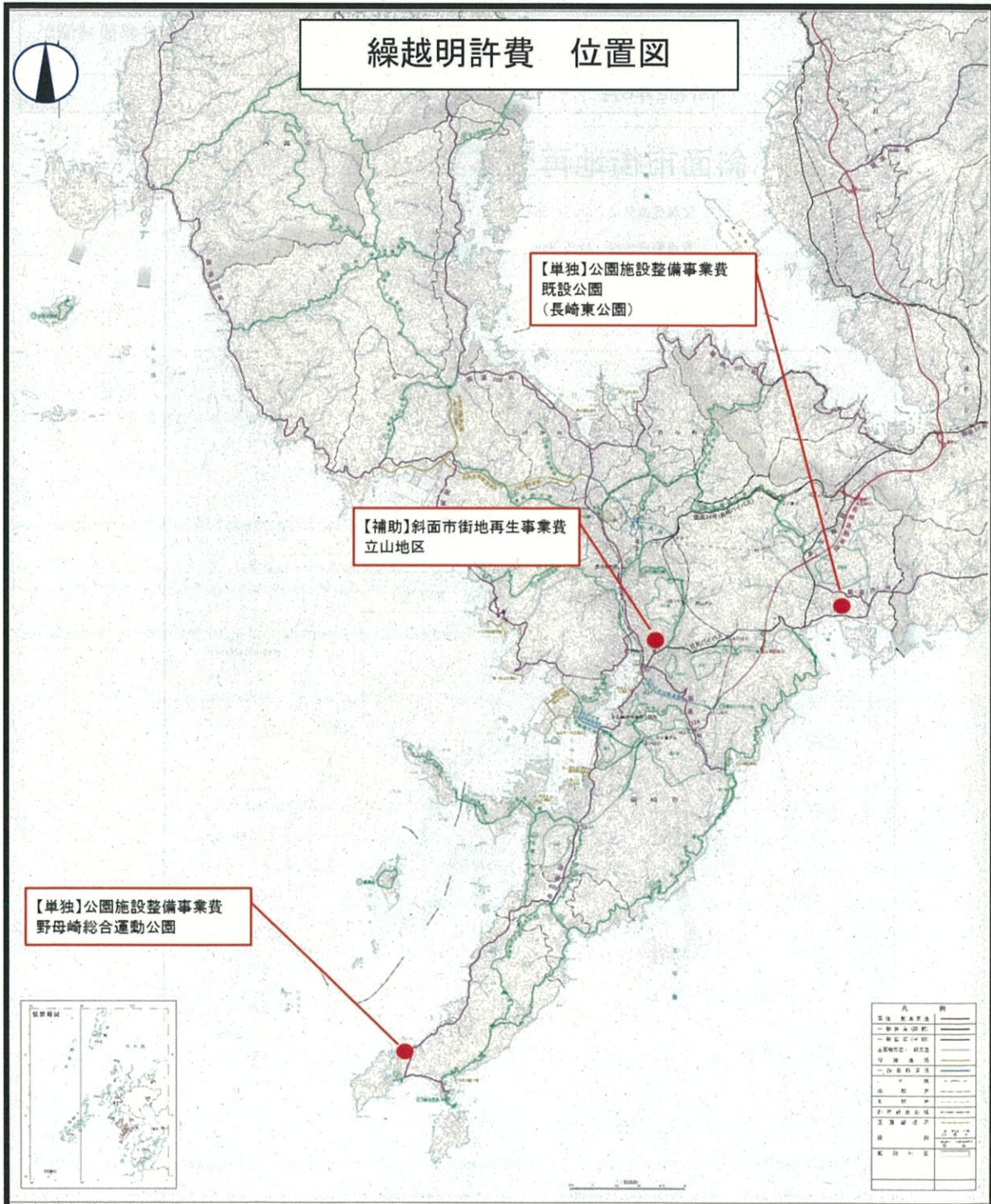
(補正後)
 用地取得 A=0㎡
 建物補償 1件
 営業補償 2件

(当初)
 用地取得 A=168㎡
 建物補償 1件
 営業補償 2件

8款 土木費 5項 都市計画費

(単位:千円)

	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8款 5項 繰越明許費	予算現額	121,020	27,550	—	82,500	—	10,970
合計	支出予定額	64,854	14,920	—	43,100	—	6,834
	繰越明許額	56,166	12,630	—	39,400	—	4,136

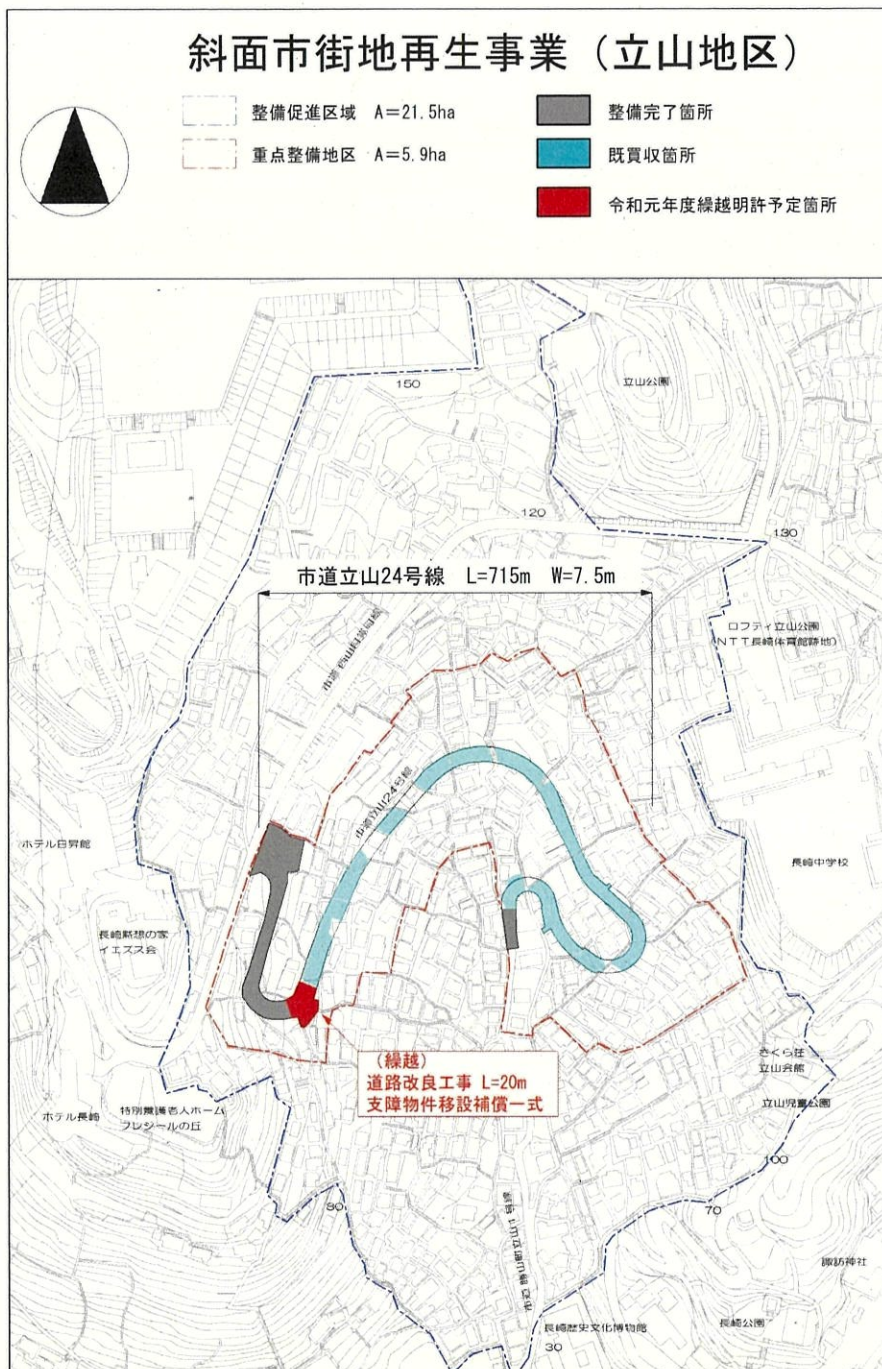


8款 土木費 5項 都市計画費 2目 都市開発費

※ 中央総合事務所

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】斜面市街地再生事業費 立山地区	予算現額	56,700	27,550	—	28,500	—	650
【事業期間】 H.15～R.6	支出予定額	31,440	14,920	—	15,900	—	620
【事業計画】 生活道路整備、公園整備等	繰越明許額	25,260	12,630	—	12,600	—	30
繰越事由	支障物件移設箇所の選定に不測の日数を要し、工事及び支障物件移設補償が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年6月						



8款 土木費 5項 都市計画費 6目 公園費

※ 南総合事務所

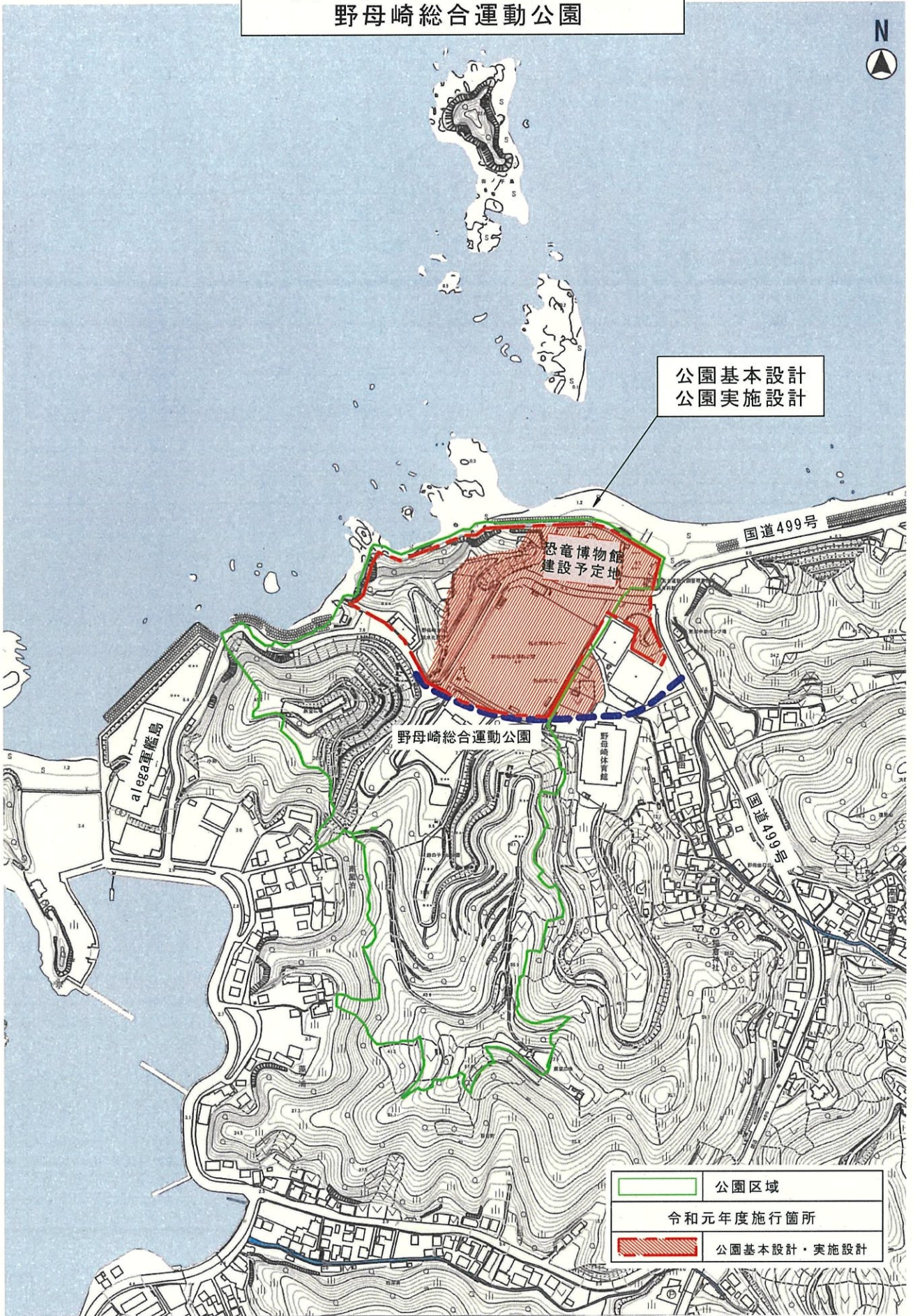
(単位:千円)




事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】公園施設整備事業費 野母崎総合運動公園 【事業内容】 基本設計A=4.4ha 実施設計A=2.0ha	予算現額	23,320	—	—	23,300	—	20
	支出予定額	8,814	—	—	8,800	—	14
	繰越明許額	14,506	—	—	14,500	—	6
繰越理由	公園施設の整備範囲の調整に不測の日数を要し、実施設計委託が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年6月						

【单独】公園施設整備事業費
野母崎総合運動公園



公園基本設計
公園実施設計



	公園区域
	令和元年度施行箇所
	公園基本設計・実施設計

【繰越明許費】予算説明書 58～59 ページ

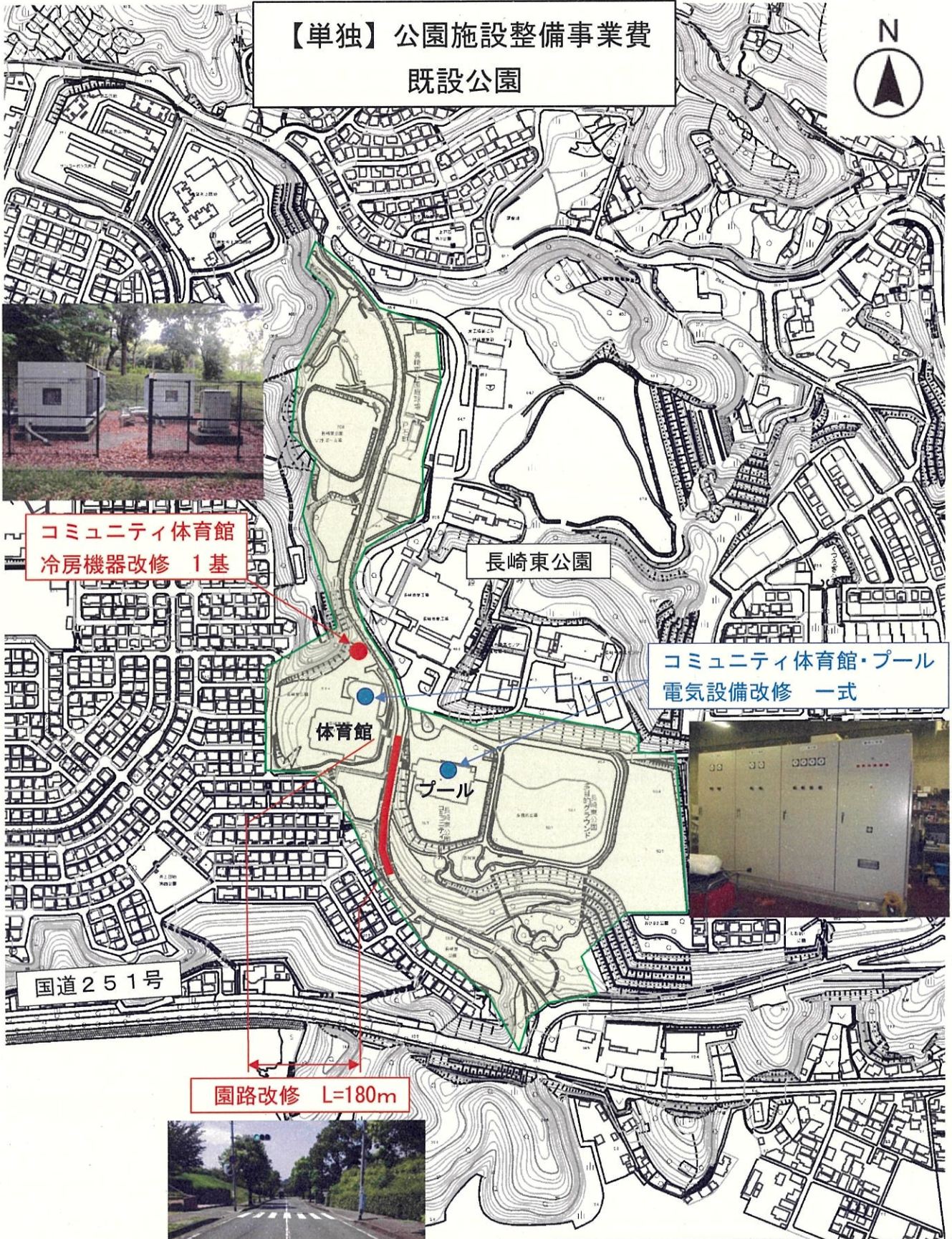
8 款 土木費 5 項 都市計画費 6 目 公園費

※ 東総合事務所

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】公園施設整備事業費 既設公園(長崎東公園)	予算現額	41,000	—	—	30,700	—	10,300
【事業内容】 (繰越施工予定) ・コミュニティ体育館 冷房機器改修 1基 ・園路改修 L=180m (施工完了予定)	支出予定額	24,600	—	—	18,400	—	6,200
・コミュニティ体育館・プール 電気設備改修 一式	繰越明許額	16,400	—	—	12,300	—	4,100
繰越事由	契約事務に不測の日数を要し、事業が年度内に完了しない見込みであるため。						
繰越箇所の完了予定	令和2年7月						

【単独】公園施設整備事業費
既設公園



コミュニティ体育館
冷房機器改修 1基

長崎東公園

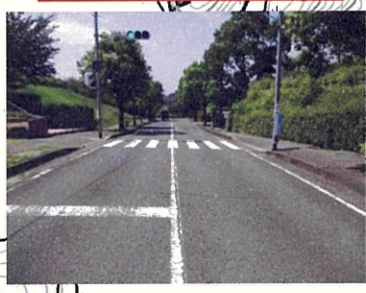
コミュニティ体育館・プール
電気設備改修 一式



体育館

プール

国道251号

園路改修 L=180m



凡 例	
	令和元年度繰越施行予定箇所
	令和元年度施行完了予定箇所

【参考】

【令和元年9月市議会 建設水道委員会提出資料】

1 令和元年度主要事業の執行予定について

(1) 令和元年度主な補助事業の変更内容について

国庫補助金の内示を受けて、令和元年度に予定していた主な補助事業の内容を次のとおり変更する。
今後、補助の追加や工事の進捗などにより、再度変更となることもある。

(単位:千円)

区分	事業実施箇所	予算額 (A)	執行予定額 (B)	差引額 (B)-(A)	事業内容 →	変更予定内容
道路	道路構造物等補強	198,700	164,131	▲ 34,569	定期点検 205箇所 橋梁詳細設計 2橋 橋補修工事 8橋	→ 変更なし → 0橋(次年度以降に実施予定) → 5橋(次年度以降に実施予定)
斜面	稲佐・朝日地区	33,500	2,900	▲ 30,600	用地買収 A=190㎡ 建物補償 1棟 事業再評価	→ 用地買収 A=0㎡(土取会計で施行予定) → 建物補償 0棟 (土取会計で施行予定) → 変更なし
	立山地区	55,100	44,100	▲ 11,000	工事 L=40m 用地等取得 1件 支障物件移設補償 一式	→ 工事 変更なし → 用地等取得 1件(土取会計の買戻し面積を減) → 支障物件移設補償 変更なし
唐人	唐人屋敷顕在化	24,900	14,312	▲ 10,588	用地買収 A=168㎡ 建物補償 1棟 営業補償 2件	→ 用地買収 A=0㎡(土取会計で施行予定) → 変更なし → 変更なし
公園	香焼総合公園	15,000	8,000	▲ 7,000	遊具改修 1基	→ 遊具部分改修(次年度以降に残りを実施予定)

※予算額は事務費を除く。

※資料中「土取会計」とは長崎市土地取得特別会計をいう。

